

# ALAMCOハリス グローバル バリュー株ファンド 2007 (適格機関投資家専用)

ありがとう投信  
Ariгато Asset Management Inc

※弊社が組入れているファンドの中で、マーケットコメント等の提供があるものについて、直近の内容を掲載しております。

運用:朝日ライフ アセットマネジメント株式会社 <http://www.alamco.co.jp/>  
基準日:2010年2月26日

マザーファンド株式組入上位5銘柄 (組入れ銘柄は2010/2/26現在)

	銘柄	国	業種	構成比率
1	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	6.4%
2	HEWLETT PACKARD CO	アメリカ	テクノロジー・ハード機器	3.9%
3	CARNIVAL CORP	アメリカ	消費者サービス	3.8%
4	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	アメリカ	各種金融	3.7%
5	JULIUS BAER GROUP LTD	スイス	各種金融	3.5%

※ 構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

## <運用概況>

2010年2月の米国株式市場は上昇しました。月初に発表されたISM製造業景況指数(1月)が市場予想を上回ったことを好感して、堅調なスタートとなりました。しかし、ギリシャから始まった財政懸念がスペイン、ポルトガルまで広がったことを受けて、反落しました。中旬に入り、EU 首脳会議においてEU によるギリシャ支援の声明が報道されると、ギリシャ財政懸念が後退し、株価は上昇に転じました。また、その後に発表されたマクロ指標の改善も、相場の上昇要因となりました。この間、FRB(米連邦準備理事会)による公定歩合の引き上げが発表されましたが、米国株式市場への影響は限定的でした。下旬に入り、市場予想を下回る消費者信頼感指数の発表等を受けて一旦弱含む局面もありましたが、月末には値を戻しました。その他の市場も概ね米国市場の動きに追随する展開となりました。一方為替市場では、円高の展開となりました。円ベースの参考指数が▲0.6%の下落となる中、当ファンドの基準価額は▲1.3%の下落となりました。ダイムラー(ドイツ、自動車・自動車部品)、アイルランド銀行(アイルランド、銀行)、アデコ(スイス、商業・専門サービス)などの価格下落が基準価額にマイナスに寄与しました。

以上